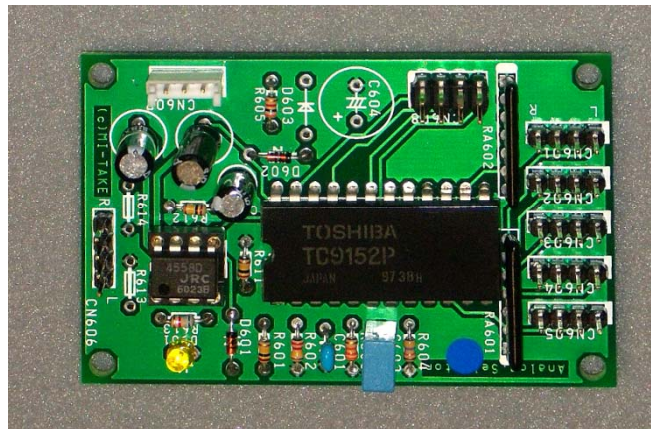


説明書

Signal Selector SW 基板

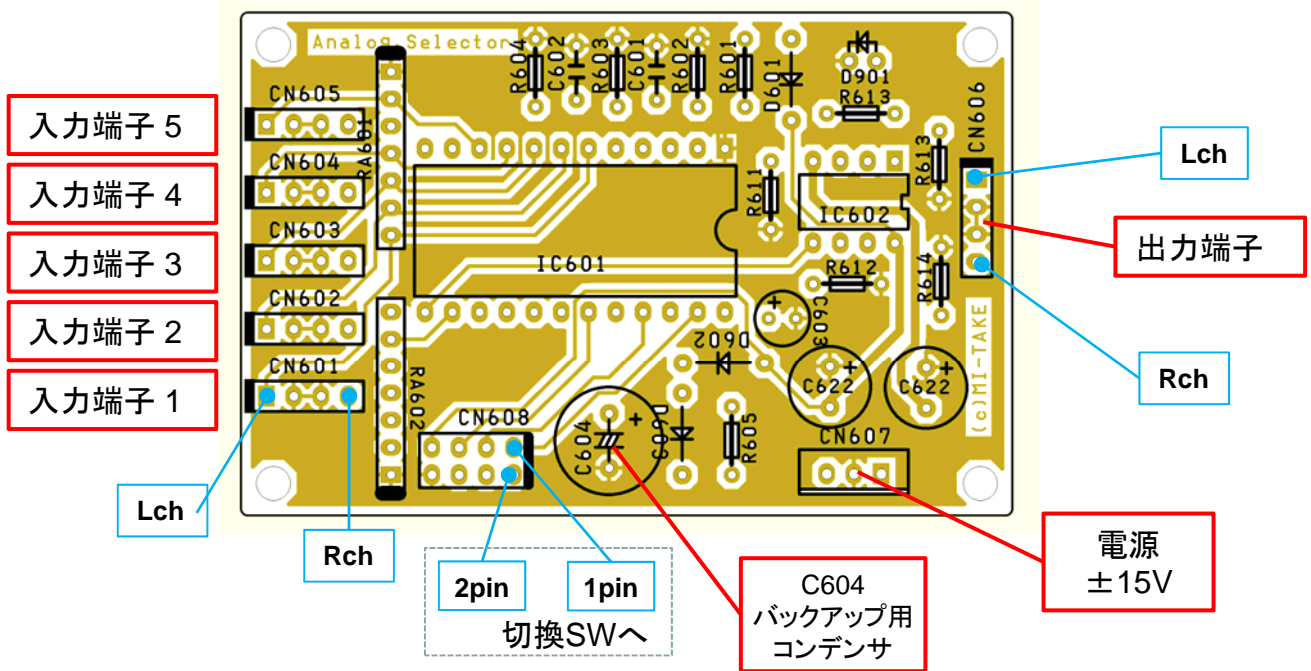
この度は、Signal Selector SW基板 お買い上げ頂きありがとうございました。
組み立て前に、本説明書をご一読いただきますようお願いいたします。



〈主な仕様〉

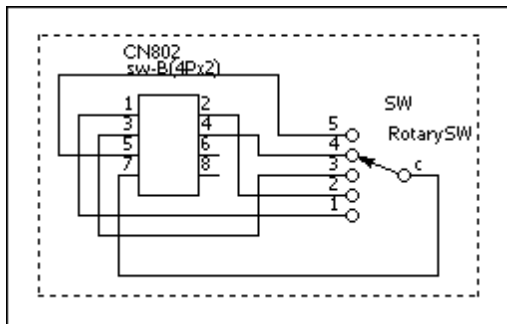
- ・切換用IC : 東芝 TC9125P (ANALOG FUNCTION SWITCH IC)
- ・出力用バッファアンプ: JRC NJM4558
- ・信号入力数 : 5入力 ヘッダーピン 4Pタイプ
- ・信号出力 : 1出力 ヘッダーピン 4Pタイプ
- ・対応切換SW : 1回路5接点ロータリSW
(タクトSW等でも可能。その場合、電源off時のバックアップ時間はバックアップ用コンデンサに依存)
- ・電 源 : ±12V～±15V EH-3Pコネクタ
- ・基板サイズ : 外形/72mm×47mm
取付孔 / 各辺から-3mmの位置 (ユニバーサル基板同サイズ)
- ・基板材質 : ガラスエポキシ FR-4材 両面スルホール

<Signal Selector 基板の接続>



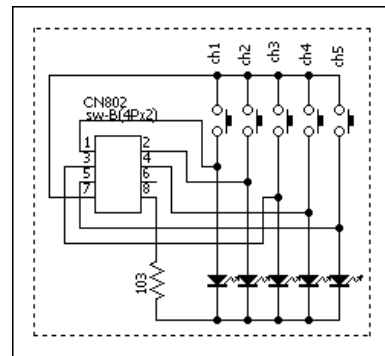
■ CN608に、切換用のSWを接続します。

<ロータリーSWを使用する場合>



<参考:タクトSWを使用する場合>

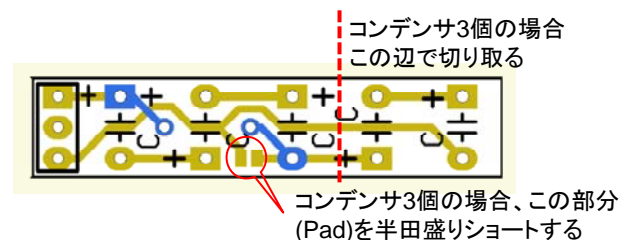
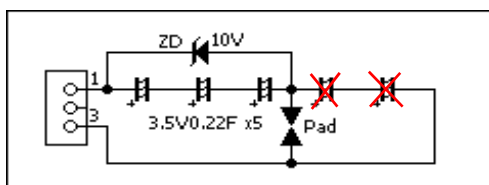
スイッチ位置表示用LED付き



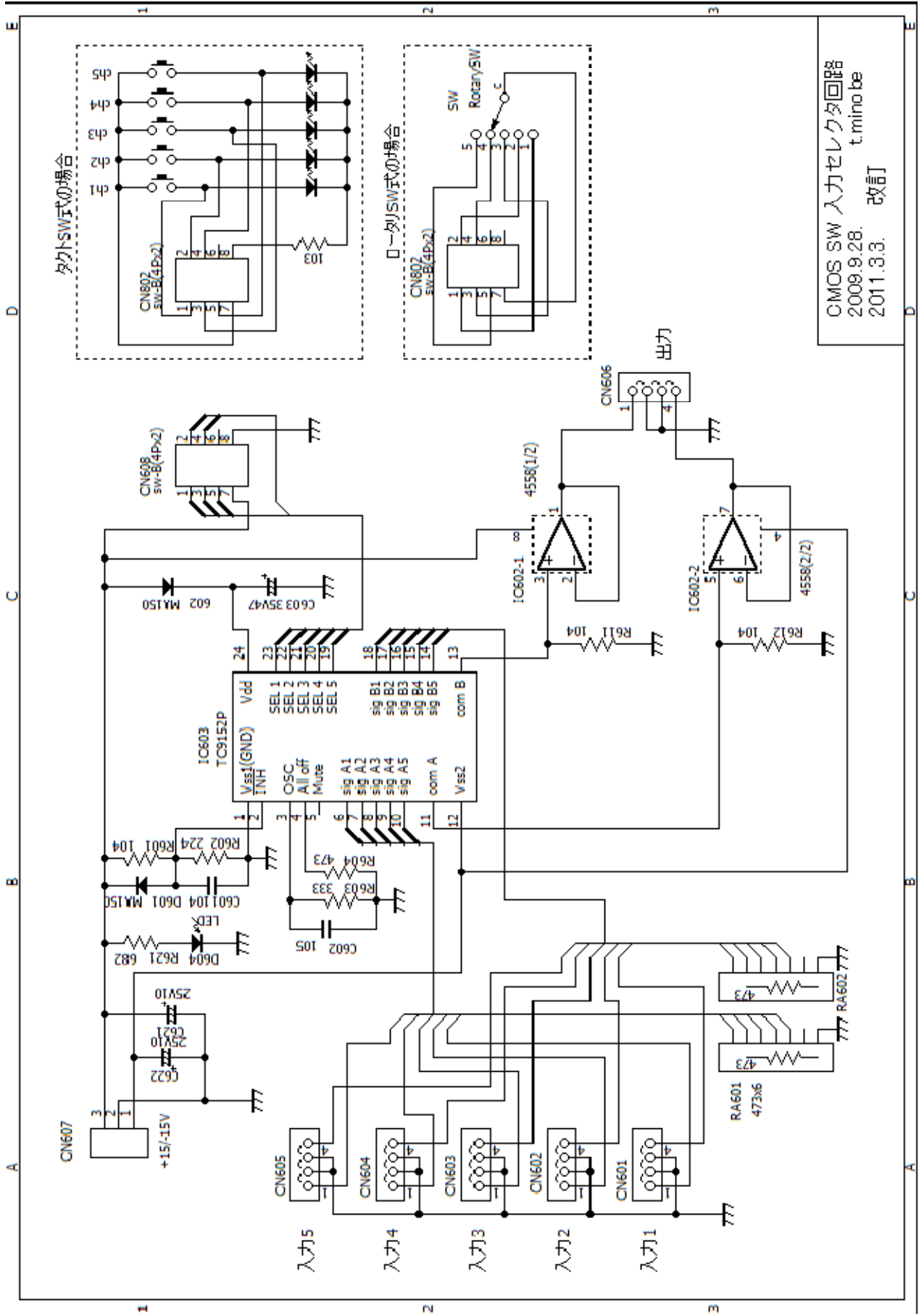
■ C604は、切換位置のバックアップ用コンデンサです。

- ・ロータリーSWを使用する場合は、不要です。
- ・タクトSWを使用する場合は、装着します。
- ・コンデンサは、耐圧16V以上のものをご使用下さい。（使用する電源電圧より高いこと）
- ・バックアップ時間の目安は、1000 μ Fで 80時間、0.04F (0.22F5個直列)で 1700時間程度です。

バックアップコンデンサ用の基板がキットに同梱されている場合は、下図 回路図及び 基板図面を参考に
ご使用ください。高さを制限したい場合、10Vのツェナーダイオードでコンデンサの耐圧をカバーすること
により3個のコンデンサでバックアップが可能になります。その場合、回路でPadとあるパターンを半田
盛りしてショートします。不要な部分の基板をニッパーなどで切り取り 高さを減らします。
バックアップ時間は、3/5 となります。



＜参考回路図＞



CMOS SW 入力セレクタ回路
2009.9.28. t.mino@be
2011.3.3. 改訂

・抵抗は(1Ω)を基準とした指数表示です。
682=68x10²(Ω)=6.8(KΩ)

・コンデンサの容量は(1PF)を基準とした指数表示です
104=10x10⁴(PF)=0.1(μF)

参考資料:

●ロータリーSWについて（秋月扱いなど同等品の場合）



ロータリーSWは、1回路 5接点以上のSWを使い
5接点になるよう設定する。
接点数の制限は、付属のストッパー付きワッシャーの位置を
矢印の位置にセットすることで回転位置を任意に設定できる
構造のものである。

性能改善のため予告無く仕様変更になる場合があります。
最新情報・関連技術情報を下記 Mi-Take のホームページで提供しています。

<http://www.mi-take.biz>

履歴

Rev. 1 : 2010. 6. 15. 1st release

Rev. 1. 1: 2011. 3. 3. 改訂 (基板Assy単品対応)